

自分を知ってキャリアをつくる!!

～5年目の「女性活躍推進プログラム@神戸」を開催～

8月20日、神戸市男女共同参画センターにおいて、キャリアアップを望む働く女性を対象にした「女性活躍推進プログラム@神戸」の第4回「あれもこれも!どれもわたし～自分らしいキャリアの作り方～」が開催されました。講師は、ひょうご仕事と生活センターの外部相談員でキャリア・コンサルタントとしても活躍されている森野和子氏。講座ではさまざまなワークを通じて自己理解を深め、自分の生き方/働き方を考える大切さを学びました。



オリエンテーションでは、講座での約束事や目的を共有し、各自の到達イメージを明確にします。またシマ型になったグループ内でメンバー同士が自己紹介を行い、話しやすい場づくりを体感しました。これは職場でのコミュニケーションに役立つものです。その上で、「仕事とわたし」をテーマに、仕事に対してどんな思いを抱いているのかを互いに出し合い、仕事における現状をあらためて確認しました。

『キャリア』というのと、どうしても「仕事」のイメージでとらえがちですが、森野氏は「職業だけではなく、人生の他の役割の連鎖。それには学生、家族、市民の役割も含まれる」と解説。まさしく、『仕事と生活の調和(WLB)』に通じる考え方です。さらには、自分のキャリアは自分でデザインする(創りだす)ものであり、そのために自身の「過去」を振り返り、「現在」を知り、「未来」をイメージすることが大切だと伝えました。

続いては、各自のキャリアデザインの時間。過去を振り返る「棚卸しシート」、別の視点を持つことで短所を長所に換える「リフレーミングワーク」、さまざまな長所の語群から自分に備わっている能力を探す「私の強み発見シート」などのワークシートに向かうと同時に、和気あいあいと気づいたことを語り合いました。

また数々のデータを通じて、働く女性の現状を解説。男女間の賃金格差、女性管理職の比率の低さなどが指摘されました。一方で、働き続けたいと考えている女性が増えていること、職場で期待されることによって管理職をめざそうと感じる女性が多いことなどの現状が紹介されました。

森野氏は「なりたい姿になるために、まずはできることから実践!」と述べました。講座の最後には、グループ内で『明日からできること』をそれぞれが「宣言」し、互いに拍手で応援し合いました。

インターンシップ生の感想

ひょうご仕事と生活センターでは、今年もインターンシップの大学生を受け入れました。上記講座への参加をはじめ3日間、ワーク・ライフ・バランス(WLB)を知るためのさまざまな研修を受け、学んだ感想をつづりました。



山口 恵里奈さん(神戸女子大学文学部史学科3年生)

WLBは、働く人それぞれの仕事と私生活の充実を実現しようとする取り組みであると学びました。そのようなWLBを、提唱している立場、経営する立場、雇用されている立場というさまざまな角度から見つめることができた今回の経験から、私の考える「理想の働き方」には私生活の内容も含まれるようになりました。この「理想の働き方」をかなえられる企業に勤めることができるよう、今後の就職活動に励んでいきたいです。



三森 香奈さん(大手前短期大学ライフデザイン総合学科1年生)

3日間、WLBについて学びました。最初のころは、「『ワーク・ライフ・バランス』というのは何だろう?」と思っていました。実際、企業を訪問して働いている方の話を聞いて、WLBというのは、企業が社員の仕事と私生活をうまく両立させることで、社員が積極的に仕事に取り組みれば、企業にとって利益を得ることができるということを学びました。



吉川 真示さん(大阪経済法科大学経済学部3年生)

3日間の研修で、働く女性の現状や、企業訪問での社長の話など、普段では聞けない話を聞かせてもらうことで、今までの自分を振り返り、新しい自分を発見することができました。WLBは、就職する際、企業を選ぶ上での必要な要素だと思います。今後の就職活動に、今回の経験を生かせるよう励みたいと思います。